

■デンマーク：発電電力量予測手法の見直しで Ørsted の株価が 7% 下落

エネルギー情報誌は 2019 年 10 月 29 日、世界最大の洋上風力事業デベロッパーの Ørsted が洋上風力における発電電力量予測について見直しを必要としたことで、同社の株価が 7% 下落したと報じた。同社は、タービン近くで風速が減速する事象や、数多くのタービンを設置した際のタービン相互の影響を考慮すると、発電電力量はこれまでの想定より減少すると説明した。これにより、同社が建設中の洋上風力発電所に関する内部収益率（Internal Rate of Return）が 8% から 7.5% に低下することになる。洋上風力発電は政府の補助政策による事業が拡大してきており、近年は競争が激化している。